



## ピットフォール研究専門委員会からの挑戦状 Challenge from Pitfall Research Committee (PiRC)

### 第2弾【追加検査・解析】

北海道大学病院 検査・輸血部  
中野恵一

PiRC第2弾「追加検査・解析」となる今回は、前回提示した症例に対し、追加検査と解析結果を開示する。これらの新しいデータを基に、引き続き考察を深め、実際の臨床現場でのアプローチを考えていただきたい。

表1. 追加検査

	測定値
IgG (mg/dL)	1211
IgA (mg/dL)	141
IgM (mg/dL)	33
免疫電気泳動	特記所見なし

表2. 異好抗体吸収試験

	未処理	HBR-1		測定値	カットオフ値
cTnI (pg/mL)	3281.2	3160.8*	cTnI (pg/mL)	3369.3	26.2
回収率 (%)	-	96.3	cTnT (pg/mL)	37.0	14.0

\*換算値

HBR-1, Heterophilic blocking reagent-1 (Scantibodies Laboratory, Inc.)

表3. 免疫グロブリン吸収試験

	未処理	生理食塩水	IgG	IgM
cTnI (pg/mL)	3281.2	3900.2*	394.8*	4069.4*
回収率 (%)	-	118.9	12.0	124.0

\*換算値

今回提示した追加検査と解析結果は、この症例の検査結果を理解する上で重要な情報となる。これらの結果を踏まえ、まずは否定できること、そして考えられることを整理し、次号の解説をお待ちいただきたい。

## ピットフォール研究専門委員会 事例集・相談窓口の紹介 [https://jscc-jp.gr.jp/?page\\_id=2911](https://jscc-jp.gr.jp/?page_id=2911)

日本臨床化学学会ピットフォール研究専門委員会(以下、本委員会)では、臨床検査に潜むピットフォールの課題に取り組み、皆様の役に立つ情報発信やサポート体制を整備している。



### 【ピットフォール事例集】

本委員会では、これまでに文献報告されたピットフォール事例をまとめた「ピットフォール事例集」を臨床化学学会のホームページ上に公開している。この事例集では、「項目」、「発見の発端」、「解析手順」、「原因」、「文献詳細」を事例ごとにまとめている。2025年5月1日更新版では、165事例(文献)が掲載されており、ピットフォール事例に遭遇した際は、同一項目での報告事例や解析方法などを確認する手段として活用いただきたい。

事例番号	項目	発見の発端	解析	原因	解析方法	参考文献	備考
1	AST	ASTと乳酸脱氢酶(LDH)の測定値一時的に一致するが、ASTは正常範囲内、LDHは異常に高値を示す。	ASTとLDHの測定値を比較し、ASTは正常範囲内、LDHは異常に高値を示す。	ASTとLDHの測定値を比較し、ASTは正常範囲内、LDHは異常に高値を示す。	ASTとLDHの測定値を比較し、ASTは正常範囲内、LDHは異常に高値を示す。	ASTとLDHの測定値を比較し、ASTは正常範囲内、LDHは異常に高値を示す。	ASTとLDHの測定値を比較し、ASTは正常範囲内、LDHは異常に高値を示す。
2	AST	ASTとLDHの測定値が一致するが、ASTは正常範囲内、LDHは異常に高値を示す。	ASTとLDHの測定値を比較し、ASTは正常範囲内、LDHは異常に高値を示す。	ASTとLDHの測定値を比較し、ASTは正常範囲内、LDHは異常に高値を示す。	ASTとLDHの測定値を比較し、ASTは正常範囲内、LDHは異常に高値を示す。	ASTとLDHの測定値を比較し、ASTは正常範囲内、LDHは異常に高値を示す。	ASTとLDHの測定値を比較し、ASTは正常範囲内、LDHは異常に高値を示す。
3	AST	ASTとLDHの測定値が一致するが、ASTは正常範囲内、LDHは異常に高値を示す。	ASTとLDHの測定値を比較し、ASTは正常範囲内、LDHは異常に高値を示す。	ASTとLDHの測定値を比較し、ASTは正常範囲内、LDHは異常に高値を示す。	ASTとLDHの測定値を比較し、ASTは正常範囲内、LDHは異常に高値を示す。	ASTとLDHの測定値を比較し、ASTは正常範囲内、LDHは異常に高値を示す。	ASTとLDHの測定値を比較し、ASTは正常範囲内、LDHは異常に高値を示す。
4	AST	ASTとLDHの測定値が一致するが、ASTは正常範囲内、LDHは異常に高値を示す。	ASTとLDHの測定値を比較し、ASTは正常範囲内、LDHは異常に高値を示す。	ASTとLDHの測定値を比較し、ASTは正常範囲内、LDHは異常に高値を示す。	ASTとLDHの測定値を比較し、ASTは正常範囲内、LDHは異常に高値を示す。	ASTとLDHの測定値を比較し、ASTは正常範囲内、LDHは異常に高値を示す。	ASTとLDHの測定値を比較し、ASTは正常範囲内、LDHは異常に高値を示す。
5	AST, ALP	ASTとALPの測定値が一致するが、ASTは正常範囲内、ALPは異常に高値を示す。	ASTとALPの測定値を比較し、ASTは正常範囲内、ALPは異常に高値を示す。	ASTとALPの測定値を比較し、ASTは正常範囲内、ALPは異常に高値を示す。	ASTとALPの測定値を比較し、ASTは正常範囲内、ALPは異常に高値を示す。	ASTとALPの測定値を比較し、ASTは正常範囲内、ALPは異常に高値を示す。	ASTとALPの測定値を比較し、ASTは正常範囲内、ALPは異常に高値を示す。
6	LD	LDHの測定値が異常に高値を示す。	LDHの測定値を比較し、LDHは異常に高値を示す。	LDHの測定値を比較し、LDHは異常に高値を示す。	LDHの測定値を比較し、LDHは異常に高値を示す。	LDHの測定値を比較し、LDHは異常に高値を示す。	LDHの測定値を比較し、LDHは異常に高値を示す。
7	LD	LDHの測定値が異常に高値を示す。	LDHの測定値を比較し、LDHは異常に高値を示す。	LDHの測定値を比較し、LDHは異常に高値を示す。	LDHの測定値を比較し、LDHは異常に高値を示す。	LDHの測定値を比較し、LDHは異常に高値を示す。	LDHの測定値を比較し、LDHは異常に高値を示す。
8	LD	LDHの測定値が異常に高値を示す。	LDHの測定値を比較し、LDHは異常に高値を示す。	LDHの測定値を比較し、LDHは異常に高値を示す。	LDHの測定値を比較し、LDHは異常に高値を示す。	LDHの測定値を比較し、LDHは異常に高値を示す。	LDHの測定値を比較し、LDHは異常に高値を示す。
9	ALP	ALPの測定値が異常に高値を示す。	ALPの測定値を比較し、ALPは異常に高値を示す。	ALPの測定値を比較し、ALPは異常に高値を示す。	ALPの測定値を比較し、ALPは異常に高値を示す。	ALPの測定値を比較し、ALPは異常に高値を示す。	ALPの測定値を比較し、ALPは異常に高値を示す。

### 【相談窓口】

本委員会では、ピットフォール事例に遭遇した際に、解析方法や結果の解釈などで困った場合に相談できる「相談窓口」をホームページに開設している。お問い合わせいただいた相談内容は、委員会内で共有し、委員会として見解や推奨される解析方法などについて回答している。さらに、解析に至った事例について、詳しい手順や結果解釈など双方向にやり取りし、可能な限り原因特定へと繋げられるようサポートしている。

問合せフォームに必要な事項を入力することで簡単に問合せを行うことができ、費用はかからない。ピットフォール事例でお困りの際は、「相談窓口」を活用していただきたい。

■ お気軽にご相談ください。

施設名(必須)

お名前(必須)

メールアドレス(必須)

相談内容

申込み前の確認(必須)

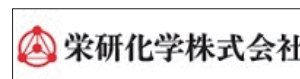
(確認画面は表示されません。チェックを入れてください。)  
☐ 上記内容にて送信します。

送信

## 学会誌「臨床化学」補冊 ピットフォール症例解析マニュアル～異常事例の発見から解析まで～

「ピットフォール症例解析マニュアル」が本会学会誌の補冊として発行されました。フリーアクセスで、どなたでも閲覧できるようになっていますので、是非ご覧ください。

[https://jscc-jp.gr.jp/?page\\_id=7198](https://jscc-jp.gr.jp/?page_id=7198)



編集・発行：一般社団法人日本臨床化学会

104-0033 東京都中央区新川一丁目28番23号

東京ダイヤビルディング5号館9階

(株)エム・シー・アイ内 日本臨床化学会事務局

TEL: 03-6367-6225 FAX: 03-6367-6235 E-mail: jscc@mc-i.co.jp

<https://jscc-jp.gr.jp/>